

平成

年

水稻直播栽培チェックノート

直播栽培成功の決め手

○ほ場の均平

○メリハリのある水管理

○タイミングを逃がさない除草剤散布

住所 _____

氏名 _____

水稻直播研究会

この水稲直播栽培チェックノートは、今年の水稲直播栽培の主要な作業を記録し、その結果を基に次年度の水稲直播栽培の改善を行うためのものです。

直播栽培圃場の中から代表的な圃場を1枚選び、その圃場について記入ください。

アンダーライン箇所には書き込みを、それ以外については該当の項目を○で囲んで下さい。

1. 圃場

本年の水稲作付面積：_____a うち直播栽培面積：_____a

調査圃場の面積：_____a 前作：_____ 土壌の種類：_____

透水性の良否： 良い やや良い 普通 やや悪い 悪い

田面の均平： ほとんど均平 一部高低がある かなり高低がある

2. 基肥

施肥日：____月____日

化成肥料名：_____ 施肥量_____kg/10a

成分：窒素(N) _____% 磷酸(P) _____% 加里ム(K) _____%

化成肥料名：_____ 施肥量_____kg/10a

成分：窒素(N) _____% 磷酸(P) _____% 加里ム(K) _____%

3. 耕起

耕起： 秋起しと春起しの2回 春起しのみ

稲わらの施用： 全量すき込み 持ち出し その他(_____)

4. 代かき

荒代かき：____月____日

仕上げ代かき：____月____日 代かき回数：縦____回 横____回

代かき後の圃場の均平： 良好 一部不良 不良

5. 浸種

品種： _____

浸種期間： ____月____日 ~ ____月____日

浸種期間中での発芽率： なかった 一部発芽

6. カルパーコーティング

コーティング時の催芽状況： 出過ぎ やや出過ぎ 最適 やや早い

コーティング月日： ____月____日 機種： 自動 手動

コーティング比率（乾粒に対するカルパー剤重量比）： _____

コーティング者： 本人 依頼（生産組合 農協 その他）

7. 播種

播種日： ____月____日 播種機メーカー： _____

播種様式： 条播 点播 条数： _____条 播種量 _____kg/10a

散播 背負い動散 ラジコンヘリ 播種量 _____kg/10a

田面の状況： ひたひた水 一部たまり水 たまり水なし

覆土の程度： 良好 ごく一部露出 一部露出 かなり露出

8. 播種後落水管理

額縁排水溝： 実施 一部実施 実施せず

実施しなかった理由： _____

圃場内排水溝： 畦畔に平行の排水溝（溝切り専用機、その他）

対角線に排水溝実施 播種同時溝切りで実施

停滞水部分への溝切りを実施 実施せず

実施しなかった理由： _____

落水期間： ____月____日 ~ ____月____日（ _____日間）

落水期間後半の田面の状況： 一面にひび割れ 一部にひび割れ

ほとんどひび割れなし

9. 入水時の状況

入水日： ____月____日 入水時の稲の大きさ： ____葉

10. イネミズゾウムシの防除

防除しなかった

防除した（ ____月____日）

被害程度： 無し 少 多い

11. 出芽の状況

出芽の良否： 良好 普通 一部不良 不良

鳥害： なし 一部あり かなりあり （鳥の種類： _____）

12. 除草剤処理

第1回処理： ____月____日 除草剤名： _____

散布量： ____kg/10a

処理効果： 良く効いた 一部取り残しがあった かなり残った

目立った雑草： _____

第2回処理： ____月____日 除草剤名： _____

散布量： ____kg/10a

処理効果： 良く効いた 一部取り残しがあった かなり残った

目立った雑草： _____

第3回処理： ____月____日 除草剤名： _____

散布量： ____kg/10a

処理効果： 良く効いた 一部取り残しがあった かなり残った

目立った雑草： _____

1 3. 分けつ開始時（4葉期頃）の圃場の還元状況

還元状況の見極め： このことは問題にしていない

畦畔から観察

圃場に入り、わき、根腐れ状況などから判断

還元状況： 還元の進行は観察されず、順調な生育状況であった
深水箇所などで還元が観察され、生育が停滞していた
全面的に還元が進行し、分けつ抑制生育障害も観察

1 4. 4葉期の落水処理（還元障害回避の対応策）

実施した： ___月___日 ~ ___月___日

実施しなかった：理由_____

落水処理の効果： _____

1 5. 中干

溝きり： 実施（___月___日） 実施せず

中干期間： ___月___日 ~ ___月___日

1 6. 第1回追肥

施肥日： ___月___日

化成肥料名： _____ 施肥量 _____ kg/10a

成分：窒素 (N) _____ % 磷酸 (P) _____ % カリウム (K) _____ %

1 7. 第2回追肥

施肥日： ___月___日

化成肥料名： _____ 施肥量 _____ kg/10a

成分：窒素 (N) _____ % 磷酸 (P) _____ % カリウム (K) _____ %

18. 成熟期の状況

倒伏程度： 倒伏なし 一部倒伏 かなり倒伏 全面倒伏

刈り取り・収穫： ____月____日

19. 収量

玄米収量： _____ kg/10a

前年に比べ： 多い やや多い 同等 やや少ない 少ない

移植に比べ： 多い やや多い 同等 やや少ない 少ない

総合自己評価

以下の項目についての感想・考えをお聞かせ下さい。

1. 出芽・苗立ちの良否には、圃場条件、種籾の催芽程度、カルパーコーティングの良否、播種精度、播種後の落水管理などが影響します。さらに苗立ち数の多少に播種量も大きく影響します。

本年度の場合、どのように評価されていますか。

- ・ 適正苗立ち数が確保できた
- ・ 苗立ち数が多過ぎた
- ・ 苗立ち数が足りない感じであった
- ・ 苗立ち数が極端に少なく、問題であった
- ・ その他 _____

2. 一定の苗立ち数が確保された後は、順調に生育させ、必要な茎数（分けつ数）を確保することが重要です。分けつ期の生育は基肥量、水管理の浅深、圃場の還元程度が大きく影響します。

本年度の場合、茎数確保の観点からどのように評価されていますか。

- ・ 1号分けつから順調に発生し、必要な茎数は早期に確保でされた

- ・生育が徒長気味で茎数の確保が思うように進まなかった
- ・4葉期前後の土壌還元によって、根腐れが進行し、生育が停滞した
- ・その他_____

3. 収量・品質は適正な籾数が確保され、健全な稲体によってもたらされるが、これには基肥、追肥の多少、中干しなどによる根腐れ軽減、中干し後の水管理、倒伏程度などが大きく影響します。

本年度の場合、どのように評価されていますか。

- ・収量・品質ともほぼ期待通りの結果であった
- ・予想していた以上の収量が得られた
- ・草出来の割に収量が少なく、期待はずれであった
- ・生育量の確保が出来ず、問題であった
- ・その他_____

4. 直播栽培においては、雑草防除も大きな問題であるが、これには除草剤の種類、除草剤散布のタイミング、散布後の水管理、圃場の均平程度などが大きく影響します。

本年度の場合、雑草管理についてどのように評価されていますか。

- ・思っていた以上に良く防除できた
- ・想定通りの防除効果であった
- ・当初予定より防除回数が多くなり問題が残った。
- ・雑草防除が最大の問題となった
- ・その他_____

5. 今年1年を振り返っての感想

6. 今後改善すべき事項及びその他問題点

7. 次年度の目標

8. 要望事項など

メ モ

